

山行報告書

作成: 2008年11月23日

愛知岳連 岡崎山岳会

山名[山域]	浅間山 2524m・浅間隠山 1757m	目的[方法]	上信越の展望を楽しむ
期間	11月8日(土)9日(日)	形態	夜行1泊2日
参加人数	5人		

行動記録:

11/7(金) 河合池公園(2020)==豊田東IC(2025)==駒ヶ根 SA(2200, 2230) ==東部湯の丸 IC(005) ==西友(010,030)--道の駅【雷電くるみの里】(035)TS1

11/8(土) 曇り TS1(630)==浅間山荘P(700, 720)--一の鳥居(750,755)--不動滝(808)--二の鳥居(815,825)--火山館(910,930)--賽の河原(950)--避難用シェルター(?)--避難用シェルター(1130)--火山館(1230, 1330)--浅間山荘登山口(1447, 1510)==ロッジ ゆうげん荘(1610)TS2

11/9(日) 曇り TS2(800)==二度上峠登山口(840, 855)--浅間隠山頂(1015, 1040)--登山口(1145, 1200)==ゆうすげ温泉旅館(1230, 1330)==岡谷 IC(1600)==飯田山本 IC(1715)==豊田勘八 IC(1815)==河合池公園(1840)



日誌: 11/7(金) 集合地の河合池公園は暗いと聞いていたが道路沿いで心配するほどでもなかった。数分で豊田東 IC~駒ヶ根 SA 休憩後東部湯の丸 IC 間、深夜割引を利用して出る。県道を5分ほど走ると24時間営業の西友で食料を調達。近くの道の駅「雷電くるみの里」は県道と高速道に挟まれ、騒音もあったが皆なんとか休めた。(289.4km 3450円)

11/8(土) 冷え込んだ晩秋路を走り最終の浅間山荘着。20台程の有料駐車場は紅葉真っ盛りで、登山口には注意を呼びかける標識と水洗トイレがある。落葉した唐松混じりの雑木林の幅広道をゆっくり歩き、熊笹の不動滝コースから霜柱の付いた登山道を火山館へと進めば、見上げる槍ヶ鞘(岩壁)に圧巻する。火山館には館長さん?が常駐し、クラシックのBGMにストーブが焚かれ、暖かい席でゆったりとさせて貰う。(トイレ、水場有。宿泊不可) 湯の平口を経て賽の河原の森林限界から壮観な浅間山が迫り、次第に傾斜も増し、火山臭のない冷たい疾風を相手に目標の前掛山を目指す。容赦なくその先を拒み体温も奪った。山頂を残し、危険な領域から支え合いながら再びシェルターに戻れば山岳マラソランナーの方々や岳友らに心温まる祝福を受ける。火山館の山小屋風テラスでやっとの昼食に手・お腹も温くなる。館長さんから雪が降った朝は周辺小動物の足跡だらけと・・・(賑やかなスロライフが羨ましい。)深黄色の唐松の幽林を眺めながら下山する

11/9(日) 曇り空の宿を8時出発。紅葉最盛期の閑静な中・北軽井沢を抜け、県道二度上峠から下った簡易トイレ有の10台程の駐車場がある。登山口は100mほど下り、冬枯れの登山道をYさんの説明に読図をしたり、尾根道から新人のIさんを先頭に緩急コースを分けながら山頂に立つ。西に優美な浅間山、北に上信越の山並、東に至仏、燧ヶ岳・・・360°の山々を昨日の分まで楽しんだ。短時間で来られる展望に登山者多く、県道まで下ると登り返しの簡易個室に向かって猛ダッシュの終了となる。貸し切りのゆうすげ温泉、竜神に見たてた海老と貝だくさんの温かい汁に、つけ麺風にいただく竜神蕎麦は美味しく、岡谷~豊田環八 IC 間、休日割引を使い河合池公園で解散となる。(78.3km1100円,96.2km1650円)

感想: 浅間山の苛烈を極める風の後退しましたが、分岐点となる体験はなかなかのものでした。美しい縦縞を見にもう一度訪れようかと思えます。山に入る心に新旧も名立たる山も大きな違いはありません。Iさんには山の好きな岳人となられることを願い、3氏には多くの山をご一緒させていただき感謝申し上げますと共に、この先も喜びを分かちあえる友でありたいと思う。